



# わかやま

No.37

和歌山県精神保健福祉センターだより 2008年11月

## 「 社団法人日本精神科看護技術協会の活動紹介 」

社団法人日本精神科看護技術協会和歌山県支部 支部長 田畑博子

社団法人日本精神科看護技術協会（日精看）は、精神科領域で働く看護職や精神科看護に関心を持っている看護職による職能団体です。昭和51年5月15日に設立され、全国約40,172人の会員から構成されています。活動の場所としては、病院はもとより地域の保健所や社会復帰施設、企業の健康管理室、看護学校など多岐にわたっています。

全国47都道府県に支部があり、専門技術・職業倫理の向上を図るとともに、精神障がい者の社会復帰および精神保健福祉の普及をめざしています。協会の事業は、教育・研修・出版が主なものです。それらについて簡単に紹介します。

- ① 日本精神科看護学会の開催。全国学会は毎年1回・専門学会は2回開催。
- ② 研修会の開催。会員対象研修を年間40回程度開催。
- ③ 精神科認定看護師制度の実施。平成7年度創設、平成19年度専門領域を10領域とし、「ディスチャーマネジメント」「行動制限最小化看護」「うつ病看護」「精神科訪問看護」「精神科薬物療法看護」「司法精神看護」「児童・思春期精神看護」「薬物・アルコール依存症看護」「精神科身体合併症看護」「老年期精神障害看護」現在161人が認定看護師として活躍中。
- ④ こころの日の開催。平成10年より、7月1日を「こころの日」と位置づけ、こころの健康問題に対する関心を高めるための活動を展開。
- ⑤ 出版の事業。月刊誌・機関紙を発行し、会員の教育・啓発に努力しています。

現在、和歌山県支部には460人の会員がいます。事務局・支部役員は2年交代で各施設が受け持ち、今年度事務局は「紀の川病院」です。支部長「紀南こころの医療センター」・副支部長2名「潮岬病院」「宮本病院」・教育委員長「県立こころの医療センター」・広報委員長「田村病院」・監事2名「野上厚生総合病院」「紀の郷病院」が担当しています。社団法人の消滅とともに、5年後までに公益社団法人への移行を目指し検討の段階です。各施設を代表して、会員に求められるニーズを考え協会の事業を行っています。

教育に関する事業では、退院促進事業の推進などにより、地域への社会復帰を目指す関わりが求められる反面、施設内でもより専門的な医療の充実が望まれ、質の高い医療と看護が求められています。このような、社会や患者・家族のニーズに応じていくために「疾患」「治療」「看護過程」「看護研究」などに細分化し、精神科に勤める看護師が必要とする教育内容を計画し、今年は8つの研修を進めています。

10月11日の支部看護論文発表会では、昨年より5席多い16席の応募がありました。臨床の看護師が看護研究に取り組み、能力や専門性を高め、共通認識が生まれ、わかりにくいといわれている精神科看護をわかりやすくすることにも役立てています。

今年、精神科認定看護師「行動制限最小化看護」が紀南こころの医療センターから1名誕生しました。日精看のシステムが各施設の人材育成や人的資源の育成に役立てればよいと思います。今後も精神科看護の充実向上に向けて尽力していきたいと思ひます。

### もくじ

- P 1 社団法人日本精神科看護技術協会の活動紹介
- P 2 わかやまこころのフェスティバル2008 / 第56回 精神保健福祉全国大会
- P 3 地域若者サポートステーション
- P 4 和歌山県精神保健福祉家族会連合会（和福連）  
/ 薬物依存症回復支援セッションのご案内
- P 5 和歌山メンタルヘルスニュース / 和歌山ビッグ愛10周年記念イベント案内
- P 6 は一とふるネットワーク  
「地域活動支援センター「どんぐりの家」 山中隆さん」  
研修のお知らせ

和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号 県民交流プラザ「和歌山ビッグ愛」2階  
5(073)435-5194 FAX(073)435-5193  
<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040400/050301/>

# わかやまこころのフェスティバル2008

と き 平成20年11月15日(土) 午前10時から午後5時まで  
16日(日) 午前10時から午後4時まで  
開催場所 わかやまビッグホエール  
主 催 和歌山県

## ステージイベント (16日13:30~15:30) 入場無料

### ♥ オープニングコンサート「ハンドベル演奏」

曲 目 「ふるさと」「赤とんぼ」  
出 演 医療法人旭会 和歌浦病院の皆さん



### ♥ 「こころがほっとするメッセージ」表彰式

### ♥ トーク&コンサート

テーマ 「ゴスペルソングに救われて ~苦しいときこそ夢と希望と音楽を~」  
出 演 市岡 裕子氏 (ゴスペル歌手)

#### 市岡裕子(いちおかゆうこ)プロフィール

兵庫県西宮市生まれ。吉本新喜劇座長として人気を博した故・岡八朗の長女。4歳からピアノと歌を始め高校時代にジャズ、黒人音楽に触れる。16歳の時うつ病により母親が自殺。父のアルコール依存症による新喜劇退団、胃ガンと脳挫傷、弟の死と続く。家族の世話に追われる中でのアメリカ留学。再渡米後、ハーレム黒人協会では本場のゴスペルに出会い、ゴスペルシンガーの道を歩む。コンサートではエネルギッシュなステージでゴスペルを歌い上げる。

- フォーイベント (15・16日両日 開催)
- 「ふれあい人権フェスタ2008わかやま」と共同開催

\*\*\*\*\*  
10月24日(金)に開催された第56回精神保健福祉全国大会において  
精神保健福祉の推進に貢献された次の皆様が表彰されました

\*\*\*\*\*

#### 厚生労働大臣表彰 (個人)

林 重信 氏 (医療法人宮本病院 看護師)

#### 厚生労働大臣表彰 (団体)

和歌山県紀南新生断酒会 福田光夫 会長

#### 社団法人日本精神保健福祉連盟会長表彰 (個人)

嶋本 嘉昭 氏 (医療法人宮本病院 事務次長)  
辻井 博美 氏 (医療法人田村病院 看護師)  
前田 精造 氏 (NPO法人和歌山県断酒連合会 理事長)  
山下 譲 氏 (国保日高総合病院 看護師)  
磯野 十次 氏 (医療法人郷の会 ソーシャルワーカー)

#### 和歌山県知事精神保健福祉功勞表彰

岡田 道子 氏 (和歌山市精神障害者家族会 「つばさの会」 会長)  
今出 徹 氏 (国保日高総合病院精神神経科部長)  
早稲田早苗 氏 (紀南地区精神障害者家族会 「八起き会」 会長)

#### 和歌山県精神保健福祉協会長表彰

中山けい子 氏 (医療法人宮本病院 看護師)  
畑中 薫 氏 (医療法人浜之宮病院 准看護師)  
西口千加子 氏 (医療法人宮本会紀の川病院 准看護師)  
姥妙 貞女 氏 (紀南こころの医療センター 看護師)  
柳瀬 敏夫 氏 (やおき福祉会 紀南障害者地域生活支援センター 相談支援相談員・管理者)  
出口 和雄 氏 (ワークステーションひだか 施設長)



## 地域若者サポートステーション



働くことに不安のある若者（15歳から概ね35歳未満の方）  
や保護者の方々への支援を目的としています。

- 何かを始めたいけれど、どうして良いかわからない。
- 人間関係が苦手働くことに自信が持てない。
- 働いていない期間が長いので就職できるか心配。
- 働いていない子どもの将来が心配。
- 子どもの自立に親としてどう関わって行けばいいのかわからない。

このような方からの、仕事や就職に関する相談をお受けしています。  
まずは、お電話でお問い合わせください。

最近の若者の雇用を取り巻く状況は、若年層の失業率や就労状況の不安定なフリーター数等が高い水準にあるなど、依然として厳しい状況にあります。

また、学校を卒業後も無業のままにいるいわゆるニートと呼ばれる若者も相当数にのぼると言われています。ニート等の若者の自立を支援していくためには、職業意識の啓発や社会適応支援を含む包括的支援を、それぞれの若者が置かれた状況に応じて個別的・継続的に行う必要があります。

このようなことから、厚生労働省では、地方自治体や民間団体との協働により、若者自立支援のためのネットワークをつくり、その拠点として「地域若者サポートステーション」の設置を進めており、現在、全国77か所で若者支援に実績のある民間団体が委託を受け、若者やその保護者等に対し、相談、セミナー、職業体験など、総合的な支援を行っています。

### 主な取組事例

#### ○ 個別相談

キャリアコンサルタント等による個別、継続的な相談支援を行い、一人ひとりに合わせた自立支援のための計画を作成します。また、メンタル面でのサポートが必要な若者には臨床心理士による心理カウンセリングを行います。

#### ○ 支援プログラム

コミュニケーション能力の習得や就職のための基礎的能力習得のためのセミナー、職場体験等により働く意欲の向上を図ります。

#### ○ 保護者へのサポート

若者の保護者に対し、職業的自立に向けた支援のあり方や、若者への接し方、保護者自身の悩みへの対応など必要な支援を行います。

#### ○ 他の支援機関との連携

他の若者支援機関との恒常的な連携を確保し、若者一人ひとりに適した支援を継続的に行えるよう努めます。



和歌山県内では、次の2団体が「サポートステーション」事業を実施しています。具体的な支援内容については、直接実施団体にお問い合わせください。

また、各地域において若者支援のための活動を行っている団体等の皆さまにも、本事業の趣旨をご理解いただき、実施団体との連携等についてご協力くださいますようお願いいたします。

### 若者サポートステーションわかやま

- 運営団体  
株式会社 東京リーガルマインド
- 所在地  
〒640-8033 和歌山市本町2-40  
聖一ソレイユビル4階
- 開所日及び開所時間  
月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）  
9：00～17：00
- TEL 073-427-3500
- FAX 073-427-3501
- H P <http://business4.plala.or.jp/station/index.html>

### 南紀若者サポートステーション

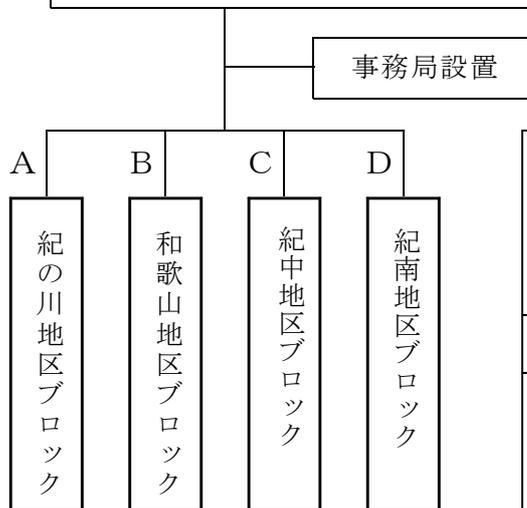
- 運営団体  
特定非営利活動法人 ハートツリー
- 所在地  
〒646-0031 田辺市湊1619-8  
田辺市民総合センター 北館
- 開所日及び開所時間  
月曜日～土曜日（祝日を除く）  
10：00～18：00
- TEL 0739-25-2111
- FAX 0739-25-0085
- H P <http://www.nanki-saposute.jp/>

このコーナーでは、シリーズで県内の組織やグループの活動を紹介します。

**NPO法人 和歌山県精神障害者家族会連合会  
(和家連)が新体制でスタート！！**

新名称

**和歌山県精神保健福祉家族会連合会（和福連）**



A	紀の川地区ブロック	希望の会（橋本市） むつみ会 すばる いちご・わらびの会 おりづる会
B	和歌山地区ブロック	つばさの会
C	紀中地区ブロック	紙ふうせん 水曜会 だるまの会 五稜の会 なぎさ会
D	紀南地区ブロック	若あゆ会 どんぐり会 ひまわり会

\* 平成20年度は、和家連の役員改選年ですが、NPO法人としては解散し、上記の新体制で活動することになりました。

これからの家族会活動は、障害者自立支援法施行にともない、地域密着型のブロックの活動強化が求められます。精神障害者を持つ家族は、保護者制度がある限り障害者とともに生活をしていかねばなりません。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

文責者 和歌山県精神保健福祉家族会連合会



**薬物依存症回復支援セッションのご案内**

和歌山県立こころの医療センターでは、薬物依存症回復支援セッション（せりがや覚せい剤再発予防プログラム【SMARPP】）を薬物依存症の方を対象に、平成20年9月8日から毎週月曜日の16:00～17:00までの時間に、医師、臨床心理士、看護師をスタッフとして開催しています。参加費は保険適用となっています。

この治療プログラムは海外で実践され、その有効性が確認されている、薬物依存症に対する外来治療プログラムを日本の実情に沿った形で6ヶ月間のプログラムに修正したものです。6ヶ月間、週1回、ワークブックを用いた認知行動療法的なセッションに参加して頂く中で、薬物依存症からの回復を支援していきます。

なお、1クール6ヶ月ですが、途中からの参加もOKです。

<参加方法>

既に病院やクリニックにかかっている方は、主治医にご相談の上、ご連絡下さい。

どこの病院やクリニックにもかかっていない方は、お電話で初診の予約を取って下さい。

- ・ 電話でのお問い合わせ先  
和歌山県立こころの医療センター 外来受付  
0737-52-3221 (9:00-17:00)
- ・ 電子メールでのお問い合わせ先  
umihamaguri@yahoo.co.jp (24時間受付)

\* 患者様の個人情報につきましては、守られますので安心してご参加下さい。



(イメージ写真)

## 和歌山メンタルヘルスニュース

県内の精神保健福祉関連の最新情報と当センターの活動をお知らせします。

### ○ ト라우マティック・ストレスケア研修

10月1日(水)、10月29日(水)、和歌山ビッグ愛にて兵庫県こころのケアセンター副センター長加藤寛氏をお招きして開催しました。10月1日は「心的トラウマの理解とこころのケア」をテーマに35名の参加、10月29日には「JR福知山脱線事故後のこころのケア」をテーマに21名の参加がありました。

「具体的な内容で実践とかさねて聴くことができた」「継続して学んでいきたい」「交通災害は匿名性が高いので、後々のケアは本当に大変だと思いました」「他職種・他機関との討論が大変有意義でした」などの意見がありました。

## 和歌山ビッグ愛10周年記念イベント

平成20年12月7日(日) 和歌山ビッグ愛

**こころの健康講座** 10:00~12:00 (受付9:30~) 6F 602・603会議室

講演「気持ちを伝えあうことの大切さ」

講師 関西国際大学人間科学部教授  
精神科医 渡邊 直樹 氏

※ 受講料:無料

※ 県民啓発事業の為、マスコミへの報道もあります。予めご了承下さい。

**グリーフケア相談** 13:00~ 和歌山県精神保健福祉センター相談室

自死(自殺)により大切な人を亡くされた方の死別による悲しみからの回復をお手伝いするため、和歌山県精神保健福祉センターでは相談窓口を開設しています。

(対象) 大切な人を自死で失った方(家族・知人・友人)

(申し込み) 予約電話にて時間を設定します。(電話 073-435-5194)

### 交流ロビー展

精神保健福祉関係団体による、絵画や手工芸等作品の展示、各種相談、アルコールパッチテスト、作業所の作品の展示販売を行います。

### 県精神保健福祉協会 会員募集のご案内

精神保健福祉の向上に賛同される方の入会を募っています。  
年会費は個人会員一口千円、団体会員一口一万円です。  
申込は当センターまたは、各県立保健所までご連絡下さい。

(お問い合わせは、073-435-5194

当センター県精神保健福祉協会担当 宮井まで  
お気軽にどうぞ)

精神保健福祉の第一線で働く関係スタッフの紹介コーナーです。  
今回は、地域活動支援センター「どんぐりの家」で指導員をされている  
山中 隆さんです。



## はーとふるネットワーク



### 一 地域活動支援センター「どんぐりの家」の紹介をお願いします。

地域活動支援センターとなって2年目となります。利用者の生活の場と労働、憩いの場確保の為に日々取り組んでおります。退院したいけどすぐ働く自身のない人、社会復帰のきっかけを見つけない人、心安らぐ場がほしい人など、是非一度お立ち寄りください。作業所に通いながら働いているメンバーもおります。

### 一 指導員になられたきっかけは？

老人施設で勤務し障害者福祉に興味があり、縁があってどんぐりの家にきました。

### 一 この仕事をしていて良かったと思う時はどんな時ですか？

入退院を繰り返して不安や悩みがあり、それが落ち着き入院することなく今は楽しくやっていると、みんないっしょに溶け込んで過ごしているときは本当にうれしいです。

### 一 仕事で苦勞する点はどのようなことですか？

ストレス社会といわれる現在を生きるなかで、精神疾患も増加しています。いろいろなニーズの人が利用されているので、そのサービスを提供することのむづかしさを感じます。利用者にとって一番プラスになるのはなんだろうかと考えることがあります。

## 研修等のお知らせ

(申込み・お問い合わせは当センターまで)

### ○ うつ・自殺対策研修

#### ① テーマ：

「自死遺族ケアの実際—死別の悲しみへの援助—」

日 時：12月12日(金) 13:15~16:15

場 所：和歌山ビッグ愛

講 師：東京福祉大学 教授 鈴木康明

#### ② テーマ：「地域における自殺予防活動について」(未定)

日 程：平成21年2月予定

### ○ 精神保健福祉専門研修

日 時：11月26日(水) 27日(木)

場 所：和歌山ビッグ愛

対 象：精神保健福祉業務に3年以上従事している者

内 容：家族をどう援助するか

講 師：横浜カウンセリングオフィスHRA所長

水澤都加佐

### 一 地域活動支援センター「どんぐりの家」のPRを一言お願いします。

創作的活動、生産活動、憩いの場所の機会の提供や交流の場としてスタッフ3名でがんばっています。そして汗水たらして育てた季節の無農薬野菜を販売しているのでよかったら買ってください。よろしく。

### 一 休日にはどのように過ごされていますか？

海が好きで船釣りが趣味です。何もかも忘れてリフレッシュしています。よく吠えるオスの柴犬とじゃれあって遊んでいます。ちなみにお手とおすわりしかできません。

### 一 今後の抱負を教えてください。

福祉、医療、行政など変化していく過程をより知り柔軟な考えを持つことと、2年まえに初めて入院して感じたことなんですけどサービスを受ける側の気持ちを忘れずに取り組んでいきたいと思えます。

### 一 山中さんから、次の方のご紹介をお願いします。

岩崎病院でP S Wをされていてバドミントンで体力をつけている奥 茂夫さんを紹介します。



### ○ ひきこもり一般向け講演会

テーマ：「ひきこもりのあなたへ

— 明日への回復10ステップ —」

日 時：平成21年1月18日(日) 13:30~

場 所：和歌山県立情報交流センターBig・U

(田辺市)

対 象：一般県民

講 師：医療法人佐潟荘副院長 中垣内正和

(精神科医)

### ○ ひきこもり従事者研修

テーマ：未定

日 時：平成21年1月19日(月)

場 所：和歌山ビッグ愛

対 象：ひきこもり支援従事者

講 師：

(午前) 医療法人佐潟荘副院長 中垣内正和

(精神科医)

(午後) 徳島大学総合科学部人間社会学科准教授

境 泉洋



## 編集後記

スポーツの秋、読書の秋、おいしい自然の恵みもいっぱいの秋本番になりました。また、今年は大きな台風の到来もなく、各地で美しい紅葉が楽しめるそうです。名所でなくても、透きとおるように輝く木の葉一枚で、心が洗われるような気がします。ちいさい秋をみつけてみませんか。